

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2023年9月24日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



気候危機アピールに市会議員団で参加



今、若い人を中心に世界に広がっている気候危機を止めようという行動するF F Fの運動に日本共産党京都市会議員団が共感し参加しました。決算議会に向けての議案勉強会の合間を縫っての参加になったため、お昼休みの短時間ではありますが参加をしました。9月15日の庁舎前アクションは全国の66自治体で行われたということです。F F Fとは、Fridays For Future（未来のための金曜日）の略で、2018年8月に当時15歳のグレタ・トゥーンベリさんが、気候変動に対する行動の欠如に抗議するために、一人でスウェーデンの国会前に座り込みをしたこと

をきっかけに始まった運動です。その当時から気候変動はさらに進み、「地球温暖化」ではなく「地球沸騰」と言われる事態です。極端な豪雨や干ばつなどが私たちの暮らしといのちを脅かしています。ところが日本政府は、石炭火力や原子力発電に頼るエネルギー政策を進めています。地方からも声を上げ、共産党市会議員団はこれからも京都市が本気で2050年CO2ゼロを実現するための提案を続けていきます。

議員日誌

維新政治の見える化第2弾「命守る公共」を取り戻す社会運動の力

日本共産党市会議員団は、維新政治の危険性を見える化して、京都の政治を守ろうと取り組んでいます。第1弾は日本共産党の大阪市会議員団長の山中議員に来ていただきました。第2弾は、大阪の橋下知事の時代に「大阪都構想」の制度設計を行い、松井知事の下で副知事をされていた小西禎一さんと、2回の大阪都構想の住民投票を反対の立場で運動されて来た福田耕さんに来ていただきました。

小西さんは橋下知事や松井知事を支える副知事として、維新政治を見てこられ、維新政治を内部から見ての感じたことを話していただきました。福田耕さんとの共著「維新政治の内幕」にも詳しく書かれていますが、印象に残ったのは「維新の言う「成長」は万博やI Rなどとにかくカンフル注射で大阪を元気にすることで、見た目は元気そうでも足腰は弱くなっていく」

ということです。そして、維新の一強は定数削減で大阪府議会の62選挙区のうち33の小選挙区を作ったことだということです。しかし内部は矛盾だらけのようです。来年2月の京都市長選挙で維新政治を許さない市長を応援したいものです。立候補を表明された福山和人弁護士は、9月11日には京都市議会の各会派に支持の要請に回られたようです。



京都市が東部クリーンセンターの廃止を提案

京都市は休止していた東部クリーンセンターの廃止を11月の都市計画審議会に提案する予定で、9月15日から9月29日までの間、廃止に対する市民の意見を受け付けています。この場所はすでに都市計画の見直しで、高さや容積率、用途地域が緩和され、さらには商業集積ガイドプランも見直して、なんでも建てられる地域にする計画です。跡地は売却せずに市民のための活用を求めましょう。



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎621-6717